

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 13日

事業所名 クォーレプレミオ中広教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			97%の保護者から適切であるとの評価でした。
	2	職員の配置数は適切である	○			93%の保護者から適切であるとの評価を頂いています。 人員を増やすことにより子供が誰の指示を聞いてよいのかわからなくなるデメリットがあります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		教室は一階に設置しており段差もなくバリアフリーとなっている。	93%の保護者から適切であるとの評価を頂いています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃、消毒を行っています。	97%の保護者から適切であるとの評価を頂いています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			子供の療育目標はもちろんのことだが、教室の年間療育目標も定めており、PDCAサイクルを常に行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者様からのご意見を頂ける媒体として有意義に活用させていただいている。 ご意見をもとに改善できる点は随時改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			HPIにて毎年公表している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		時折、外部から小学校の先生、幼稚園の先生、大学で発達障害について研究されている客員教授の先生などが視察に連れられ、ご感想等を改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			導入時研修、週3回の模擬授業、2カ月に一回の定期研修、県外への研修などを行う予定ではあったがコロナの関係で最低限のことしかできない状態が続いている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		課題を客観的にとらえ、科学的根拠に基づき計画作成を行っています。	95%の保護者からできていたとの評価を頂きました。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されたアセスメントツールを用いると同時に専門的な見地からのアセスメントも行っている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		科学的根拠に基づき、プログラムがどのように効果があるかを分かったうえで支援内容は設定されている	91%の保護者からできていたとの評価を頂きました。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画(方針)のない支援はあり得ないと思っている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			教材課、運動課をつくりプログラムの構成、進め方について研究し各教室へ提案、改善を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間目標をもとに年度末に目標達成できるよう週ごとに活動内容はレベルアップしています。	84%の保護者からできていたとの評価を頂きました。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			集団活動ができるようになるために、個別→小集団→集団とスモールステップで組み立てている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日ミーティングを必ず行い、療育を行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日授業後フィードバックを必ず行い、支援の質の向上を図っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日必ず経過の記録を行い、療育計画の進捗をチェックしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			見直しは方向修正が入れば常に行うものとしている。基本は半年に一度立てた目標がどうだったかを検証し、次の目標を立てる。 半年に一度保護者との個別面談も行う。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			管理者、児発管のどちらかが出席している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		現在そのような機会がない
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在対象児がない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在対象児がない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者、保育所などから依頼があった場合のみ対応している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在そのような機会がないため実績はないが、保護者や学校の依頼があれば対応できる準備はしている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後、大学の研究機関及び小児科のドクターと連携をとることを計画している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		保護者評価より保育園に通園しているので必要ないとのコメントをいただいております。当教室としても現在その必要性を感じておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			時間の都合が合わず参加できていないので、時間の折り合いがつけば積極的に参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お会いした際には必ず状況の共有は行っており、連絡帳も活用している	90%以上の保護者からできているとの評価を頂きました。 送迎の時に今日の様子を教えてください、どんなふうにご経過したかわかりますとの評価も頂きました。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	保護者相談やカウンセリングを専門に行っていただけの方と連携して、希望者には随時支援を行っています。	プログラムを提供することまでは行っていないが、相談があれば助言させていただくことがあります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず行っています。	保護者評価からも90%以上の方からできているとの評価を頂きました。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		直接面談しながら、確実に行っています。	保護者評価からも89%の方からできているとの評価を頂きました。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者相談やカウンセリングを専門に行っていただけの方と連携して、希望者には随時支援を行っています。	Zoomを使って活動の様子、頑張っていくところの助言がありましたとのコメントを頂きました。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		個人面談の形を継続したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速に行っています。 保護者評価からも82%の方からできているとの評価を頂きました。 すべての方に満足いただけるよう対応していきたいと思っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			保護者評価から周知が行き届いていないように感じますので対応を検討します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			鍵付きのロッカーに保存しています。カルテ、実績表、請求書、領収書、受給者証などチェック体制をしいて注意しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳を主に活用しています	97%の保護者からできていたとの評価を頂きました。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		必要性が現在ないため行っておりません
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者へは契約時や会報誌などで周知を行っています。	職員には周知を徹底しており、訓練も行っていきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に一度行っています
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○		重大な事態になるてんかんなどの確認は行っていますが、予防接種までは確認していません
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの聞き取りは必ず行い、徹底した管理は行っていますが、医師からの指示までは受けたことはありません
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例集までの作成は行っていないですが、ミーティングやフィードバックで必ず共有しています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待研修は必ず行います
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在そのようなケースがないので実績はありませんが、組織的な取り決めはありません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。